

サッカー部

声高らかに。

燃え上がる。

蹴球魂。



令和2年6月28日（日）、古川高校を会場にサッカー部の試合が行われました。

チーム一丸となり一人一人の素晴らしいプレーが見られました。定期戦という形で行われた試合は3年生にとって最後の見せ場でしたがお互いを最後まで尊重しあって活気のある試合でした。



【試合結果 0対4 借敗】

キャプテン 関村 駿大

とても悔しい。キャプテンとして大変だったことは、みんな良い人達だったので特に苦労したことはなかった。最後にチームへの一言は後輩たちに頑張ってほしい。

部長 近藤 聖太

部長として大変だったことは、最初は全体的にまとめるのが大変だった。でもやっていくうちに覚えていったが、中でも一番大変だったのが部長として一番に部員のことを考えないといけないのが大切だと思った。負けましたが全員の顔を見て全力でやっているような顔つきで楽しくやっていた。



工藤孝哉先生

古高は強かった。最後、選手には楽しくやれとしか指示していないので、悔いなく出来れば良かったと思っている。今の3年生はリーダーシップのとれる子が多かった。支部総体も県総体もなくなってこのまま3年生も引退になるのかなと思ったが最後に定期戦というように試合を終われたのは良かった。試合は負けてしまったが最後の最後まで元気よくやっていて、こんなにも声を出してやっていたのは初めて見た。でもまだ大会は残っているので何人か3年生が残ってくれれば嬉しい。



小野寺剛先生

結果は借敗でしたが最後まで爽やかに走り切ったので良い形で幕を下ろせた。でも悔しさは残る。3年生は精神面がとても成長した。最後にありがとうを伝えたい。



【取材：川田朋果・高橋美月】